



ももぐみだより

令和5年12月 No. 3



つんとした冷たい空気に、ひんやりとした風。もう季節はすっかり冬ですね。子ども達は冷たい北風に負けず、毎日元気に遊んでいます。早いもので、今年も残りひと月となりました。もも組になって身の回りのことを自分でしたり、保育者や友達のお手伝いをしてくれたりする姿にたくさんの成長を感じています。これからも子ども達一人一人の自分らしさや良さを大切にして関わっていきたいと思います。



楽しかった発表会



先日は、お忙しい中、生活発表会にご参加いただき、ありがとうございます。「トントントン」「何の音？」と子ども達と保育者との言葉のやり取りから始まったおおかみごっこ。大好きな絵本を題材に好きな踊りや集団遊びを劇遊びに取り入れたことで、どの子もはりきって楽しむ姿が見られていました。絵本のストーリーでは一番下の子ヤギが柱時計に隠れますが、劇遊びでは隠れたい子が多く、みんなで隠れることになりました。毎回違う場所に隠れて、かくれんぼ遊びを楽しんでいたのですよ。おおかみが飲んだ薬は、子ども達に「何色の薬を飲んできれいな声になったと思う？」と聞くと、「しろ！」と言う子が多く、「白い粉をつけてお母さんヤギの手みたいになるから、声も白い薬を飲むとお母さんみたいな声になる！」とのことでした。理由まで考えていることに驚き、感心しました。

発表会后、嬉しそうに「楽しかった！」「お母さん笑ってたよ」と報告してくれました。保護者の方に見てもらい褒めてもらったことで自信が付き、「もう一回みんなでおおかみごっこしたい！」「今度は〇〇ちゃんと一緒におおかみになりたい」と、遊びや活動の意欲が高まっています。

これからも、友達と一緒に遊ぶ楽しさを感じることができるよう、友達との関わりを大切にしながら過ごしていきたいと思います。



発表会後の遊び

園庭に出ると、サッカーゴールの下に布を敷いて家をつくり、子ヤギになりきって寝転んだりごちそうを食べる真似をしたりして遊んでいます。そこへおおかみがやってきて、「トントントン」と戸を叩くと、「なんの音？」「おおかみだ！」とおおかみ役と子ヤギ役に分かれてごっこ遊びが始まります。発表会の時とは異なる場所や物でも、子ども達同士でイメージを共有して言葉のやり取りをしながら楽しむ姿を見て、成長を感じました。

